

第5回安城市スポーツ振興計画策定委員会議事録

日 時	平成26年8月22日（金）午後1時30分～午後3時30分
場 所	安城市体育館3階第4会議室
出席委員	平岩文雄委員長、横山修副委員長、笠原喜美江委員、加藤治好委員、藤浦快也委員、石川恭委員、岩月俊二委員、吉田祥子委員、澤信一委員、近藤金光委員、稲垣寿隆委員、加藤宣子委員、
欠席委員	山本新平委員、森下秀一委員、高畑尚弘委員、神谷道紀委員、
事務局出席者	生涯学習部長、スポーツ課長、スポーツ振興係長、施設管理係長、籠瀬
委託業者出席者	寺崎
次 第	1 市民憲章唱和 2 あいさつ 【議題】 1 第2次安城市スポーツ振興計画素案について

1 市民憲章唱和

2 あいさつ

（平岩委員長）

連日、暑い日が続きますが、今日は皆様にお集まりいただき、感謝申し上げます。

先日、政府が来年度、文部科学省の下部組織としてスポーツ庁を創設することが新聞に載っていました。スポーツ庁の創設により、東京オリンピックまでによい選手を育てたいという意図が込められていると感じています。一方で、スポーツをする人を増やすこと、スポーツ人口の底辺を広げることも重要だと考えており、安城市においても、色々なスポーツ団体の活動などにより、大人から子どもまでスポーツを親しめる環境づくりを行い、市民の健康寿命を延ばすよう努めているところでございます。

私が所属するNPO法人安城市体育協会や各スポーツ関係者、市のスポーツ課、皆様のご協力を得て、市のスポーツ振興計画で掲げられる「成人の週1回以上のスポーツ実施率50%」という目標を達成したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

本日は、平成26年度の第2回の会議となります。皆様の忌憚のない意見を活発に発言いただき、よいスポーツ振興計画を作りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

（生涯学習部長）

本日は皆様大変お忙しい中、非常に暑い中、ご出席いただき感謝申し上げます。また、日ごろから市のスポーツ振興に対し、格別なご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、広島の方では、一昨日の豪雨による土砂災害が非常に大きく取り沙汰されていますが、昨日、7名の不明者というところから一気に51名の不明者となってきてお

り、本当につめ跡の大きさに驚かされています。安城市は矢作川があり、洪水の心配はありますが、山がないので土砂による災害を受けることはあまりなく、非常にありがたいと思っています。今回の災害で犠牲になられた方のご冥福をお祈りいたします。

本日の会議については、新計画の本編となる第1章から第6章までの素案について、説明をさせていただきます。この中でも特に第4章は、スポーツ振興の施策、取り組みを整理している部分で、重要な部分となります。特に皆様方にご審議をよろしく願いいたします。来年1月にパブリックコメントを予定しており、次回、10月29日の会議が最終的な会議となります。本日と次回の会議で皆様方の忌憚のないご意見を頂き、安城市らしい計画の策定を進めたいと考えていますので、計画の完成まで皆様方にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

【議 題】

(1) 第2次安城市スポーツ振興計画素案について

事務局より、資料1（第1章、第2章）に基づき説明

(加藤宣子委員)

私自身、普段は競技スポーツの活動をすることはありませんが、25ページ、「3 スポーツ振興に向けた主な課題」の「(1)「する」スポーツについて」にある「健康を保持・増進するため」の一文は、自分が今までやってきたことが入っていますので、この課題に向けてさらに活動を続けていきたいと考えています。

(平岩委員長)

周りの方を巻き込んで活動していただければありがたいと思います。

(吉田委員)

同じ項目の「体力・筋力を向上させるため」について、大人は自分の体力のレベルがなかなか分かりませんが、少し前に大人の体力測定があり、シャトルラン等がありました。仕事で行けない人もいましたが、自分の体力レベルを知り、それをきっかけに1年間運動をして、次の年に測定して少しでも向上していただきたいと思います。現状の体力を把握できる機会があればいいと思います。

(事務局)

文部科学省が国民の体力・運動能力を把握するために行っているもので、安城市では2年に1回実施しています。今回は、20歳～70歳の5歳単位で男女それぞれ3～5人程度のデータを頂きたいと考え、7月の土曜日の2日間の午後1時と午後3時の時間帯に4回ほど実施しました。もう少し、皆さんが参加していただける時間帯も必要かもしれません。ぜひ今後も行っていきたいと考えています。

(平岩委員長)

各地域にスポーツ推進委員がおられますが、各地域で実施していただければ皆さんが参加しやすいかと思います。

(事務局)

体力測定をする機器が、精密機器ということもあり、貸し出して持ち出すと故障してしまう可能性があります。

(石川委員)

5 ページ、「(2) 調査結果」の「するスポーツについて」のスポーツ実施率のグラフにおいて、中高生は週1日以上が76.4%となっていますが、体育の授業を省いた調査なのでしょうか。

(事務局)

昨年実施したアンケートでは、「学校の体育の授業以外に何日くらいスポーツ・運動を行っていますか」という聞き方であり、部活動は入っています。

(近藤委員)

26 ページの「(5) スポーツ施設環境について」に「道路や空き地などでスポーツを行っている」とあるように、神社でラジオ体操をしています。隣の町ではきちんとしたグラウンドでされています。ラジオ体操に参加すると、マクドナルドのスタンプカードを配り、毎日出席した子にはお土産を出しています。ラジオ体操の普及率についてのデータはあるのでしょうか。

(事務局)

夏休みの期間にスポーツ課の事業として、「おはよう！ふれあいラジオ体操会」を行っていますが、昨年の参加者は延べ50,874名となっています。「おはよう！ふれあいラジオ体操会」は3～4年前からスポーツ課で行っている事業で、マクドナルドに毎年協賛をお願いし、カードを13,000～15,000枚提供いただいています。子ども会など宣言書を出していただいた団体のみなさんには、マクドナルドから提供いただいたカードとかんぽから提供いただいたノートをセットにして渡しています。カードに判子が1個でもあれば、安城市内のマクドナルドで小さいポテトに交換してもらえ、非常にお子さんたちにも喜ばれています。すべての会場を合わせて延べ50,874名という数字となっています。

(近藤委員)

「おはよう！ふれあいラジオ体操会」の会場はどのくらいありますか。

(事務局)

平成24年度は123カ所、平成25年度は61カ所増加して184カ所となっています。子ども会や町内会、スポーツ推進委員さんなどに主導していただき、ぜひ地域でたくさんやっていただきたいと思います。

(近藤委員)

3年前からと言われましたが、私は7年前から地域で活動を行っています。私の地域では、マクドナルドのラジオ体操カードは子ども会の分だけもらっています。

(事務局)

マクドナルドのラジオ体操カードは、提供いただき3年目です。去年から大人の分も提供いただいています。

(横山副委員長)

私の住む地域では、スポーツ課から依頼を受けて、各学区のスポーツ推進委員が町内会や子ども会と調整し各地区で取りまとめ、スポーツ課に報告していただくようにしています。

(近藤委員)

私の住む地域では、新しい住民が多く、小さい子が増えています。6時半からラジオ体操をすることを周知して、多くのみなさんとラジオ体操ができるようにしていきたいと思っています。

(事務局)

ぜひとも、そのような活動に対して応援をさせていただきます。規則正しく6時半に起きることも大事ですし、地域の方が顔合わせることはもっと大事なことだと思います。

(近藤委員)

老人クラブの皆さんが参加していただき、お互いの顔が見え、触れ合いや絆が生まれます。できるだけ集まってほしいところですが、100人程度しか集まらない状況です。

(稲垣委員)

近藤委員のところは集まる方だと思います。昔は夏休み中にたくさん参加しないと何もらえませんでした。今は3日から1週間です。人数的に集まっても真剣にしている感じがあまり受けません。ラジオ体操を学校では行わないのでラジオ体操第2を知っている子はほとんどいません。1カ月ほどあれば指導もできますが、3日から4日間ではなかなか難しい状況です。

(事務局)

市内では、常設会場として6～7つくらいはあり、毎日ラジオ体操をしていただいています。

(近藤委員)

朝6時半以外の時間でやっている所はないでしょうか。

(事務局)

冬場は午前7時から、カセットテープを使って行ってみえる所もあります。ラジオ体操をきっかけにして日常的にスポーツをしていただくため、この事業は今後も力を入れていきたいと思っています。

(近藤委員)

ラジオ体操は優れていると思います。気軽にどこでも音楽なしでもできるようなものがあれば、もっと日頃から身体を動かす人が増えると思います。

(加藤宣子委員)

私自身の活動で、安城の音楽を使った体操を企業等で普及させていただいている最中ですか、きっかけづくりの取り組みとして、健康づくりの推進に協力できたらと思っています。

(稲垣委員)

26ページの(4)「ささえる」スポーツについて、「スポーツボランティアの実施率は、文部科学省の調査結果よりも低くなっている。」とありますが、スポーツボランティアとはどのようなものでしょうか。

(事務局)

現在市では、マラソン大会や駅伝大会等でランナーを誘導するための走路員のボランティアをしていただいたり、事前準備等で協力いただいたりしています。

(稲垣委員)

市のスポーツ行事でのボランティアが少ないということでしょうか。

(事務局)

「スポーツに関するボランティアをしたことがありますか。」という聞き方で、そのような限定はしていません。

(稲垣委員)

スポーツボランティアがどういうものを把握してもらえば、さらに協力してもらえないのではないのでしょうか。好きなスポーツ種目以外でも協力できるようなシステムを作って推進したらどうでしょうか。

(事務局)

色々な団体に働きかけたり、スポーツボランティアの活動内容をわかりやすくお知らせしてボランティアを増やしていきたいと思います。

(平岩会長)

安城シティマラソンやデンパーク駅伝大会においても、ボランティアの業務内容や申し込み方法など、少しはPRしている状況ですが、より分かりやすいPR方法を考えていただければと思います。

事務局より、資料1（第3章～第6章）に基づき説明

(近藤委員)

「スポーツ推進委員」の方が公民館活動の中で、「地域が元気に 地域を元気に」というスローガンにより活動をしており、地域のまつりなどでの協力をお願いしています。あまりお願いしてもいけないのかと思っていますが、スポーツ推進委員とはどのような方なのでしょうか。

(横山副会長)

現在、安城市内に57名おり、私もスポーツ推進委員です。できる範囲で、色々な地域の活動に協力することができますので、どんどん使っていただけるとよいと思います。

(事務局)

人口3,000人程度に1人、地域からスポーツ推進委員を出していただく形で、現在57名の方に2年任期の非常勤公務員として委嘱しています。基本的には町内会から推薦していただいていますので、まずは、地元でスポーツを通じて地域とのつながりを作り、地域を元気にする活動をしていただいています。地域とスポーツ推進委員との関わり方は、町内会行事のスポーツ部門だけであったり、それ以外の部門でも関わりがあったり、町内会によって違います。現役でスポーツ推進委員を委嘱されている方もおられ、平日の夕方や土日を中心にご協力をいただいています。各地域で差はありますが、基本的には、小学校区や町内会で活動をいただいています。

また、東部地域のスポーツ推進委員が、北部地域のスポーツ推進委員の主催した催しに出張し協力したりして、他の地域で行っているよい点を地元を持ち帰って反映するという形で、積極的に取り組んでいる方々が多くみえます。

(近藤委員)

公民館活動とは別に町内会のいろいろな行事があるので、今後は協力をお願いしていきたいと思います。

(平岩会長)

基本的には小学校区に3名ほどいますが、まだまだ認知度が低い状況がありますので、どんどん使っていただければスポーツ推進委員さんもやりがいが出ると思います。

(事務局)

9月1日号の広報あんじょうで、各地域のスポーツ推進委員の方々を写真入りで掲載し、紹介をする予定となっています。

(近藤委員)

スポーツの振興として、公民館活動の中でもスポーツの要素を取り入れて行っています。

先日、私の地域では、スタンプラリーをして子どもたち21名が参加しました。そのスタンプラリーでは、消火栓の場所に担当者がスタンプを持っていて、子どもたちが地図を見ながら、その場所に辿り着いてもらうもので、楽しい催しとなりました。毎年、ウォーキングの催しはしていたので、今回はいつもと違うと感じた方も多くおられました。これは防災のために行ったもので、消火栓の場所や避難場所等を大人も認識できて非常によかったと思います。参加者は多少減りましたが50名程度いました。

(稲垣委員)

何回もそうした催しを行っているとのことですが、毎年、町内会長に提案して行っているのでしょうか。50名も集まったとのことですが、他の地域でも協力すればできるものだと思います。

(近藤委員)

私で発案をし、調整などもやっています。企画倒れにならないようにしています。

(加藤宣子委員)

健康づくりの分野でも、県が厚生労働省の健康増進活動推進事業ということで、地域で計画を立てて3回行わなければならないものがあります。

(近藤委員)

催しをやってみなければ、何人来るのか分からないところがあり非常に難しく、1回目が一番大変だと思います。ウォークラリーは、スポーツではないかもしれませんが、色々なパターンを考えながらやっています。

(事務局)

地域でのスポーツに関することは、スポーツ推進委員にも協力を求めているだけならどうでしょうか。

(近藤委員)

今回、町内会長が七夕まつりをするというので、台風の合間に竹切りに行き、子ども会に協力してもらって町内に竹を飾りました。町内会の行事をスポーツ推進委員に対し協力を求めるのはいかがでしょうか。

(横山副会長)

私の居住する地域では、町内会の行事もすべて、スポーツ推進委員に案内が来ます。町内会でそういうシステムができています。

(平岩会長)

私の町内会では、運動会やふれあいまつり等も全部スポーツ推進委員に出てもらっています。役割分担をして、皆さんに知恵を出していただいています。

(石川委員)

34ページの「3 「おしえる」スポーツの振興の③スポーツ指導者資格保有者の紹介」について、学校等から依頼がきたときにある程度対応していく必要があると思いますが、現状、主だったスポーツは全部カバーしているのでしょうか。

(事務局)

数年前からスポーツ指導者養成講習会をしており、資格保有者は80名弱で、いろいろな種目の指導者がおられます。ホームページへの名前の掲載を確認中で、ホームページへの掲載まで至っていない状況です。今年度の指導者講習会が終了した時点で載せていきたいと考えています。

(平岩会長)

目標100名に達していませんが、ホームページ掲載は全員OKでした。安城市では体育協会加盟団体として20競技団体がありますが、12～13種目くらいはあるかと思っています。

(稲垣委員)

スポーツ指導者養成講習会は毎年やっているのでしょうか。希望があれば毎年何人でも資格が取れるのでしょうか。

(事務局)

毎年度行っています。3年間の期限の資格で、現時点では資格認定者が、約79名見えます。定員はありますが、希望者の方には、今のところ受講していただいております。

(笠原委員)

スポーツ指導者養成講習会は年に何回かされているのでしょうか。

(事務局)

土曜日の夜等に2時間程度で8回、栄養学やAEDの使い方もあります。更新の方は3講座、初めての方は8講座聞いていただき資格を付与しています。

(藤浦委員)

40ページ、個別目標の図表5-1にある事業に参加した人は、全体目標の「成人の週1回以上のスポーツ実施率50%以上」に含まれないと思っておりますが、それでよいのでしょうか。「みる」「おしえる」「ささえる」のところに参加された方もスポーツを実施したという実績になるのでしょうか。

(事務局)

全体目標の「成人の週1回以上のスポーツ実施率50%以上」について、「する」スポーツの事業が特に関係するものですが、事業の頻度が必ずしも週1回以上ということではないので、全体目標のカウントに含まれるもの、含まれないものがあります。また、直接ではありませんが、「みる」「おしえる」「ささえる」スポーツで関わることで、自分がスポーツをするようになる場合もあると考えますので、間接的には影響してくる部分があると考えています。

(笠原委員)

14ページの「①市のスポーツ施設の満足度」のところで、「どちらでもない」が79.0%となっており、「スポーツ施策に関心が持たれていない様子」となっていますが、「満足している」の次に「どちらでもない」という選択肢ではなく、「やや満足している」を入れれば、また結果が変わるのではないのでしょうか。

(事務局)

次にアンケートをとる機会があれば考慮していきたいと思っております。

(岩月委員)

アンケートの対象が成人と中高生ということですが、今後、低年齢のスポーツ動向やスポーツの意識がかなり重要になってくると思っております。小学生の運動習慣が将来的なスポーツ振興につながると考えれば、小学生以下の子どもたちの意識をスポーツ振興計画

にどう盛り込んでいくかという視点も必要ではないかと考えています。

スポーツ指導者の資格について、せっかく定期的に講習会をされているので、日体協等の各競技団体が出す資格や全国的な資格を紹介したり、指導者のステップアップをするためにどういう道筋があるかをホームページ等で紹介したらどうでしょうか。

(事務局)

「する」スポーツの振興に「子ども」という言葉が出てきますが、子どもの意識改革を図っていくことも大事だと思うので、さらに盛り込めるものがあるかどうか検討します。

日体協等の中央の資格制度の関係も、言われたような内容を「おしえる」スポーツの振興の項目に盛り込めるよう考えていきたいと思っています。

(平岩会長)

体育協会でも広報を通じて紹介します。日体協のほうは実技もあり、お金と時間がかかりますが、安城市はそれより簡単な講習会の内容としており、実技については各競技団体でやってもらっています。

(澤委員)

25ページの「3 スポーツ振興に向けた主な課題」を受けて、第4章の「スポーツ振興施策の展開」の部分につながっていると思います。

25ページの(1)「する」スポーツについて「20歳代から40歳代のスポーツ実施率が低くなっている」とありますが、その年代は子どもがいるので、子どもを預かる施設を充実できれば活用できるのではないのでしょうか。

(3)「おしえる」スポーツについては、スポーツの指導人材バンクのような形で、すぐに提供できる環境を整えることが必要かと思っています。小さい子をいかに取り込むかということでは、スポーツの指導者講習会に、例えば小中学生等も参加してもらえば、その子が大きくなったときにもっと大きな形で返ってくるのではないのでしょうか。

(4)「ささえる」スポーツについてでも、やはり若い人の参加が将来に結び付くと思います。スポーツといえば中学生、部活動と結び付いてくるので、その辺の人材をいかに活用していくかが重要かと思っています。

(5)スポーツ施設環境について「市内の公共施設」とあり、公共の公園が整備されていますが、子ども会関係では神社やお寺をよく使っているので、そういう所も含めて考えていったらどうかと思います。

ラジオ体操については、小学校の校長会にお願いして推進してほしいと思います。体育の先生ですら、流行のストレッチ等に流れていってラジオ体操第1の素晴らしさを分かっていません。指導的な部分が不十分であれば、スポーツ推進委員に援助してもらえばよいと思います。

(加藤治好委員)

昭和55年に大学を卒業して小学校に赴任し、春の運動会の練習でラジオ体操の見本を見せてほしいと言われました。高校でも大学でもやったことがなく、子ども会のラジオ体操を思い出しながらやりました。その後、各学校が授業以外の時間で体育をするようになり、それぞれの学校に合った準備運動や体操をつくって取り組んできました。それが5年、10年続いた後、ストレッチ体操に変わりました。平成元年に赴任した西中ではラジオ体操第2をやっていたので、録画して覚え、かか上がっているのか、手は開いているか閉じているのかなど、ポイントになるところを覚えて子どもたちに教えました。西中では入学してゴールデンウィーク明けまで1カ月間はラジオ体操だけを合格するまでさせていました。今、子ども会の親御さんが、多分一番ラジオ体操をしていない世代かと思います。澤委員が言われるように小中学校でもラジオ体操に取り組む必要があるかと思います。ポイントを捉えたラジオ体操を覚える機会があれば、さらによいと思います。

小中学生の体力テストの結果が出ていますが、5年生では全国平均より低く、中学校2年生の春には全国平均に追いついてきているということで、学校でやっていることの効果は見てとれますが、余暇の過ごし方や放課後の遊びなどが他の地区とは違うのかと思います。スマホを6時間以上している子も1割近くいるという話を講演会で聞きましたが、そういうところも考えていく必要があるかと思います。

(稲垣委員)

先ほど言われた25ページの「20歳代から40歳代のスポーツ実施率が低くなっている」という件について、例えば、小さい子どもがいて、子どもと公園や遊園地で遊んだりすることは含まれていないのでしょうか。

(事務局)

「スポーツ」という言葉の定義はしていますが、どうしても人によって捉え方が違うので、それも含めて答えた方も含まずに答えた方もおられるかと思います。どちらかといえばスポーツではないと思っているのではないのでしょうか。

(稲垣委員)

15分から20分程度歩いて公園に行ったり、サイクリングをしたりというのは入っていないのではないかと思います。小学校でも子ども会でも、少しでもラジオ体操第1だけは教えるような方向で考えていただきたいと思います。

(事務局)

ラジオ体操の件はスポーツ課としても推進していきたいと思っています。私も今年、ラジオ体操の講習会をして、真剣にすれば汗だくになるくらい体力を使うことが分かりました。多くのスポーツ推進委員に参加していただきましたが、その他の人にも多く参

加していただき、人数が多ければ回数を増やすことも考えたいです。ラジオ体操はどこでも手軽にできる素晴らしい国民体操だと思うので、普及していきたいと思います。

(平岩会長)

今、安城市では町内会や子ども会に入らない割合が多いです。町内会や子ども会に入れば、ソフトボールやフットベースボール、町内運動会等に子どもが出て親がついてくるので、関わる機会が非常に多くなると思います。私のところは田舎の町内会で、町内会も子ども会もほぼ100%入っていて、子ども会役員は、子どもを下の名前で呼び捨てで呼ぶことができ、皆の目が届きます。なかなか市だけで対応が難しいかもしれませんが、もっともっと、町内会、子ども会への加入を促進していただきたいと思います。

(横山副会長)

スポーツ推進委員の立場から言わせていただきますが、我々自身は、頑張っているつもりでも認知されていないという気がします。我々も頑張って認知度を高めていきたいと思います。機会があればスポーツ推進委員が頑張っていることを、地域のみなさまに広めていただければありがたいと思います。

(近藤委員)

ラジオ体操を始めて7年目ですが、小さい子は小学校に上がる前に覚えます。やはり、小さい子が参加するように、町内会や公民館など、いろいろな形で働きかけを進めていくべきだと思います。公民館がない所は余った土地を有効利用しながら進めていきたいと思います。

(事務局)

今回は、10月29日(水)午後1時30分から、この会場にて開催の予定です。

本日、いろいろ審議いただきましたが、他にもご質問やご不明な点があれば9月19日(金)までにご連絡いただければ、回答をしながら変更すべきところは変更していきます。

以上